

山田大使のカラガンダ・バルハシ視察

2022 年 4 月 4～5 日

山田大使はヴァシウリス・リトアニア大使と共に日本人抑留者の慰霊碑が所在するカラガンダ及びバルハシ近郊を訪問し、碑の現状を視察するとともに現地関係者と意見交換を行いました。

スパスク(カラガンダ近郊)

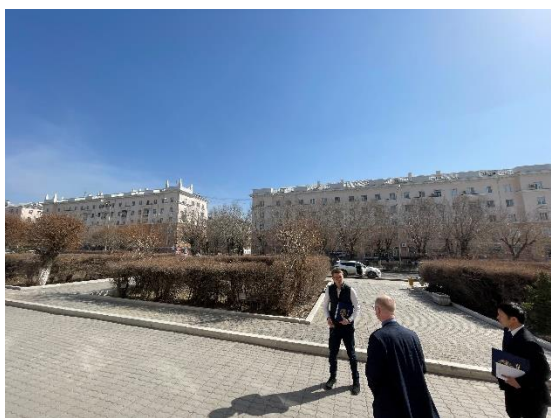


雪解け水により緩んだ土壌



地盤全体が不安定化し倒壊の危険

バルハシ市及び近郊



日本人抑留者による建築群(市庁舎前)



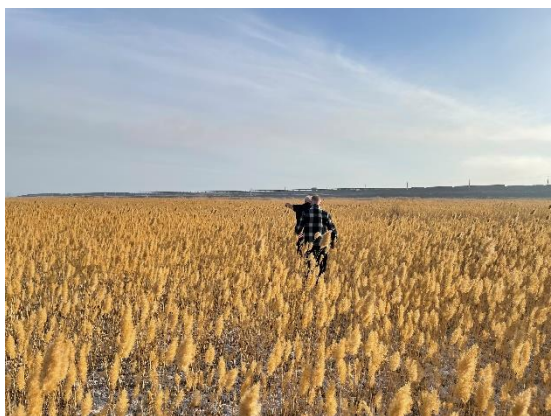
バルハシ湖と銅の精錬工場



日本人抑留者慰霊碑(1989 年建立)



付近の光景(表土一面が塩で覆われる)



遺骨が埋葬された地点に繁茂する葦



バルハシ収容所建物跡①



バルハシ収容所建物跡②



バルハシ収容所建物跡③



コヌラト村の収容所跡①



コヌラト村の収容所跡②



コヌラト村の収容所跡③



リトアニアが建立した慰霊の十字架



付近にある銅の露天掘り現場



タウルペコフ市長、ヴァシウリス大使と



バルハシ市第15番学校



アラシュ自治国の旗と指導者ブケイハン



校長先生と生徒たち



校内に設けられたカザフ文化の博物館



ベクタウ・アタ自然保護区